

立木ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

明治四十二年三月十八日(木曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開キマス、御質問ガゴザイマスナラバ、ドウ御質問ヲ……

○藤田四郎君 是ハ一條ツ、トカ、二箇條トカ、三箇條トカヲ質問スルヤウニ御決メニナツテハ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ諸君ニ伺ヒマスガ、モウ大體ノ御質問ガ無ケレバ逐條ニ付イテ御質問ニナツテ宜シウゴザイマス

(富井政章君「異議ナシ」ト呼フ)

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ左様イタシマス、逐條第一條……

○藤田四郎君 是ハ段々前カラ尋ネテ居リマシタゴザイマスガ、造林……若シ政府委員ノ御話ノアリマシタ司法省デ調ベラレタ所ノ人工植栽ノモノヲ主トスル考デアツタト云フ御話ヲ承リマシタガ、サウナリマス、ドウ云フ文字ニナツタナラバ宜シイノデゴザイマセウカ、若シサウ云フ意味ニ之ヲ直サウト云フ場合ニハ……

(富井政章君「廣イ」ト述フ)

廣イノハ分ッテ居ル、若シ司法省ノ考ヘラレタヤウニナツタナラバ、是ハドウ云フヤウナ文句ニ直セバ宜イデセウカ

○政府委員(上山滿之進君) 司法省ノ初メノ案ノ殖林ノ目的……「殖」ノ字ヲ「造」ニ直シタデアリマス、其「シヨク」ノ字ヲ「繁殖」ノ字ニ書イタ、ソレハ司法省ノ考デア人工植栽ノモノヲケヤルト斯ウ云フ見込デアツタラシイケレドモ、私ノ方デ申スト殖林ト矢張り廣イ意味ニ讀メル、之ヲ人工植栽タケノ意味ニシヤウトシマスレバ、人工植栽ニ依リテ生立セシメタルトカ云フコトニナツタナラバ明ニナラウト思ヒマス、人工殖林トカ或ハ人工植栽ト云フ文字デ表ハセバ明ニナリマス

○藤田四郎君 詰リ其點ハサウナリマシタモ大體ノ目的ハ人工植栽デアツ……自然ノ林モ其中ニ幾分這入ルト云フコトヲ免レナイト思ヒマスガ、ソレガ這入ルモノトシテ宜イデスカ

○政府委員(上山滿之進君) サウナリマス人工植栽ノモノタケケニナルダラウト思ヒマス、後ニ自然ニ生ヘテ來タモノヲ含ムト云フコトハ、タシカドコカノ箇條ニアツタデスネ……アツタヤウニ思ッテ居リマシタガ、ソレハ記憶違ヒデアリマシタ、先刻申シタヤウナ文字ニナリマスルト天然ノモノハチヨット這入リマセヌ、タシ人工植栽エタモノタケケノコトニナル

○藤田四郎君 ソレハ何デゴザイマスガ、最初ソナヤウナ考デア案ガ出來テ居タノデアリマスガ、詰リ極ク狭クスレバ今ノヤウニナリマス、或ハ部分ハ這入ルト云フコトニナル、是ハ今ノヤウニ別ノ條デモ設ケテ置クコトガ必要デアルカドウカ……

○政府委員(上山滿之進君) モウ一應……

○藤田四郎君 詰リ之ヲ極ク狭ク今御話ノヤウニシテモ宜イデセウガ、モウ少シ廣メタ意味ニ、自然ニ生ヘル部分、人工植栽デナイモノガアルト云フ場合ニ若シ登記ノ場合ニ

抵當ノ途ガ出來ヤウトスルト、一箇條クラ井ドツカ但書カ何カ入レル必要ガアルカドウカ、アレバドウ云フヤウニ入レタラ宜イカ、何カ一定ノ御意見ヲ承ハラナクテモ宜イガ參考ニ承リタイノデス

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ御質問ハ斯ウ云フコトニ承ハルノデアリマス、免ニ角人工植栽ノ目的デ造林ヲ致シマス、其中ニ混ッテ自然ニ生ヘタヤウガ増加スルト云フ場合ヲ指シテ御尋ネノヤウデアリマスガ、サウデゴザイマス

○藤田四郎君 ハイ

○政府委員(平沼騏一郎君) サウナリマス、此法文ノ儘デモ其中ニハ這入ルダラウト思ヒマス、ソレハチヨット御參考ニ第二十條ヲ御覽クダサイ、第二十條ニ變更登記ノ場合ヲ規定シテアリマス、其中ニ「樹木ノ發生若ハ成長……依ル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」ト云フコトガアリマス、斯ウ云フコトガアリマスカラ、別ニ規定ヲ設ケマセヌデモ自然其意味ニナリマセウト思ヒマス

○谷森眞男君 先刻來「造林」ト云フ字ト「殖林」ト云フ字ニ付イテ色メノ御質問モ出マシタガ、私ハ造林トシテモ殖林トシテモ意味ガ違フト云フコトニハ解釋ガ出來ヌヂヤラウト思ヒマスガ、矢張り同ジ意味ニナリハセヌカ、詰ル所造林ト云フモ是ハ人ガ造ルト云フコトニナリマス、殖林トシテモ矢張りサウナリハセヌカ、天然ノ物ヲ殖林ト云フ譯ニハ行キハシナイ、ソコデドツチニナツタモ私ハ意味ノ違フ譯ハナイダラウト思ヒマス、ソレガ違フ譯ガアリマセウカ

○政府委員(上山滿之進君) 先刻來、殖林ト云フ字ニ付イテ司法省ノ原案ニハ殖林トナツテ居ルト云フコトヲ申シマシタ、殖林ト云フ字ト造林ト云フ字ト擇ブ所ハナイト思ヒマス、人工植栽エタモノニ限ルト云フコトデアリマスレバ人工植栽トカ人植林トカ言ハナケレバナリマセヌ、是マデ造林ト云フコトハ林業上ニ使ッテ參リマシテ、ソレニハ人工植栽ノモノト天然ノモノト兩方使ッテ居ルコトハ其點ハ疑ヒハアリマセヌ、ソレヲ嚴密ニ分ケレバ人工植栽トカ人植林トカ云フ文字ヲ使ハヌトナリマセヌ

○富井政章君 文字ノ撰定ハ第二ノ問題デアツ、私ハ實質上果シテ原案ノ幅ニシテ置クノガ宜イカ、或ハ藤田君ノ言ハル、如ク狭クスルガ宜イカト云フコトニ付イテ甚ダ感フノデアリマス、實際ニ近イ所ハ前會ニ政府委員カラ述ベラレタ人工ヲ加ヘテ育テ、居ル松林ノヤウナモノガ這入ルカ漏レルカト云フコトデアラウト思ヒマス、ソレハ這入ルノガ宜イノカ這入ラナイノガ宜イカ、其所ガ根本ノ要點デアツ私ハ甚ダ感フノデアリマス、サウ云フ松林ノヤウナモノヲ有テ居ル者ハ之ヲ抵當ニシテ資金ヲ借入レ得ルコトガ出來ネバ甚ダ不便デアルト云フヤウナコトモ實際多クアルノデセウカ、其點ヲ今少シ詳細ニ伺ヒタイノデアリマス、私ハドチラニ贊成シテ宜イカ其實質上ノ必要ト云フモノニ付イテ能ク事實ヲ解シナイノデアリマス

○政府委員(上山滿之進君) 此前カラモ申上ゲマス通りニ此抵當法ノ制定ヲ熱望シテ居リマスノハ現在奈良地方ダケデアリマス、デ外ノ方ニドレダケ現在必要ナコトガアル

貴族院立木ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

明治四十二年三月十八日

九

(六六)

カト云フコトハ地方ノ情況ニ付イテ一々申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、併シ全體ニ涉テ考ヘマス御承知ノ通り藩政時代カラ澤山ニ山林ヲ處分シタコトガゴザイマスガ、ソレニ松山一箇所、右實渡シ候、又ハ松山一箇所、之ヲ抵當……ト云フ字ハ使テアリマセヌガ、今日ノ言葉申セバ抵當ニシテ金ヲ借リルト云フコトハ澤山ニゴザイマス、是ハ下戻ノ時分常ニ遭遇シテ居リマス事柄アリマス、タゞ今日ノ法規ノ下ニ於テハ土地ヲ抵當ニ致シマシタ所デ立木ハ何時デモ其土地ノ所有者ガ勝手ニ持テ行クコトガ出來マスルカラ、立木ニ抵當權ヲ完全ニ及ボスコトハ到底出來ナイコトデ、今日ノ法規ノ下デハ山林ノ抵當ト云フコトハ昔ホド有效ニ行ハレナイト云フコトガ當然デト考ヘテ居ル、ツレドウカ出來ルコトナラバ、サウ云フモノモ抵當ニナルヤウニ致シタイト云フノガ政府ノ方ノ希望デゴザイマス、ソレデソレガ出來マセヌト先キホド申シマシタ通り十分ニ山ノ木ヲ主トシテ申シマスガ、其山ノ木ヲ以テ或ハ資金ヲ調達スルト云フコトモ出來マセヌノデ、自ラ山林ノ開發ト云フコトニ障害ヲ及ボス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ何レノ山デモサウ云フ風ニシテ獨立ノ不動產トスルト云フコトハ出來ルヤウニシタイト思ヒマスケレトモ、併シソレハ抵當ノ目的物ト、ソレカラ契約書ニ表示シタルモノト適合ヲ明ニ示スコトノ出來ナイ部分ニ付イテハ已ムヲ得マセヌ次第デゴザイマスカラ、ソレハ此法律ノ範圍ニ屬サス譯ニハ參ラナイト云フコトデ、純粹ナル此天然林デ進モ材積ノ計算モ出來ズ又本數モ數ヘラレナイト云フヤウナモノハ是カラ省クコトニ致シマシテ、其以外ノモノデアッテ詰リ材積ナリ本數ナリ其他十五條ニ規定シテゴザイマス必要ナル條件ヲ調査スルコトガ出來テ、ソレニ依ッテ此證書面ノ抵當ノ土地ト實地トノ適合ガ明瞭ニナル範圍ニ於テハ、ドウカ此法律ノ保護ノ下ニ總テノ山ヲ立タセタイ、斯ウ云フコトノ希望デゴザイマス

○藤田四郎君 一條ハモウ是デ措イテ置キマシテ、二條ノ方カラ……委員長カラ御宣告ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ第二條ニ移リマス

○藤田四郎君 此末項ノコトハ立木ト土地所有權ト別ニナッテ居ルカラト云フコトノ意味デゴザイマスナ

○政府委員(平沼騏一郎君) サウデゴザイマス、土地ト立木トハ別箇ノモノニナリマスルカラ及バナイト云フコトニナリマスノデゴザイマスルガ、併シ立木ト云フモノハ別箇ノモノデアッデモ、尙ホ土地ニ從タルモノデアルカラシテ、土地ノ上ノ權利ヲ生ズレバ自然ニ立木モ同一ノ運命ニ從フト云フ在來ノ法規ニナッテ居リマス、其例外ノ規定ニナリマスルカラハ兎ニ角此所ニ示シテ置クト云フ趣意デゴザイマス

○藤田四郎君 是ハ他ノ法規ヲ受ケタ條文デゴザイマスナ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其通りデゴザイマス

○富井政章君 此第三項ハ餘ホドムツカシイ規定デアッテ、果シテ總テノ場合ニ此結果ニナルノガ宜イデアルカ、甚ダ疑ウテ居リマス、餘ホド廣ク書イテアリマスノデ、立木ノアル土地ヲ賣レバ土地ダケ賣タモノト見ナレバナラヌデアル、別段ニ意思表示ガ無イトキハ立木ハ之ニ伴ウテ處分セラレタコトニナラナイト云フ意味デアラウト思フ、ソレカラソレハ果シテ總テノ場合ニ於テ適當デアラウカ、當事者ノ意思ニ適スルコトデアラウカ、資金

ヲ得ル等ノ便宜ノ爲ニ獨立ノ不動產トシテ抵當ニ入レルト云フヤウナコトハ宜シイケレドモ、兎ニ角土地ノ定著物、定著物ト言ヘバ土地ト別ナル不動產ト見ルベキデアリマセウケレドモ、兎ニ角土地ノ一部デアル如クニ取扱ハネバナラヌモノデアラウト思フ、ソレニ此規定ガアルトキハ今申シタヤウナ結果ニナルノデアラウト思フ、ソレカラ地上權者ガ立木ヲ有シテ居ルト云フ場合ニ、地上權ヲ他人ニ讓渡シタダケハ立木ハ當然讓受人ニ移ラナイト云フ意味ニ解セラレマスガ、果シテサウデアルカ、ソレナラバ多クノ場合ニ於テハ立木ガアレバコソ地上權ヲ有スル必要ガアルノデ、立木ナシニ地上權ヲ有ッテ居タ所ガ仕方ガナイ、地上權ト立木トハドウシテモ同一ノ人ニ屬サナケレバ不都合デアル場合モ多カラウト思ヒマスガ、其點ニ付イテ少シク御説明ヲ請ヒタイト思フデアリマス、私ノ今述ベタヤウナ廣イ意味デナイカモ知レヌト思フデアリマスガ、此第三項ニ付イテハ少シ御説明ヲ仰ギタイト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 先刻申述べマスル通り此法律ニ依リマシテ立木ノ保存登記ヲ致シマスルト、土地ト分離イタシマシテ一ツノ獨立ノモノニ相成リマス、サウ致シマシテ所有權ノ登記其他賣買讓與抵當權ノ設定等ニ付キマシテモ、總テ別々ニ登記ヲ致スコトニ相成リマスルノデ、現今ノ民法ノ規定ニ依リマスル土地ニ從タル立木ハ總テ土地ト同一ノ運命ニ從フト云フ原則ハ立木ニ付イテハ認メマセヌデアリマスルカラ、其自然ノ結果ト致シマシテ當事者間ニ別段ノ意思表示ノ無イトキニハ矢張り獨立イタシマシテ處分セラレ、ト見ルノガ至當デアラウト云フ考デアリマス、ソレデ此地地上權ノコトニ付イテ富井サンカラ御話モゴザイマシタガ、元來地上權ト云フモノハ立木ヲ所有スル爲ニ設定セラレルモノデアルカラシテ、地上權ダケ處分ヲ致シマシテ立木ハ之ニ伴ハヌト云フコトハ地上權設定ノ目的カラ言ウテ筋合ノ立タヌヤウナコトニナリハセヌカト云フ御趣意ノヤウニ承リマシタガ、是ハ一方カラ考ヘマスルト或ハ御説ノヤウニナルカ知リマセヌガ、併シ能ク考ヘテ見マスルト、立木ヲ所有イタシマスル爲ニ地上權ヲ設定イタシマシテ、其地上權ニ基イテ竹木ヲ其上ニ立立タルト云フ場合デアリマス、其場合ニ於キマシテ地上權者ガ或ハ更ニ賃貸借ノ契約ヲ致シマシテ、賃貸借人ガ其賃貸借ニ基イテ立竹木ヲ仕立タルト云フ場合モアルノデアリマスルシ、又立木ノマ、立竹木ヲ他人ニ讓渡シテ地上權ダケハ保存イタシテ置キマスル場合モアリマス、例ヘテ申シマスルト、地上權ノ年限ガ四百年、併ナガラ其立竹木ノ伐採期ハ其以前ニ到來スルト云フ場合モアルノデゴザイマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、立竹木ノ伐採期ガ參リマシテ其立竹木ヲ伐ッテ仕舞ヒマシテモ其地上權ガ殘ッテ居リマスカラ、其地上權ニ基イテ舊ノ地上權者ガ更ニ其土地ノ上ニ竹木ヲ仕立タルト云フコトモ出來ル、ソレデ此地地上權ト立木ト云フヲ引離スト云フコトガ強チ不條理ト云フコトニハ相成ルマイト考ヘル、詰ルトコロ此第二條ノ趣意ハ先刻申上ゲマスル通り總テ別々ノ運命ニ從ハセマシテ、登記モ別ノ簿冊ニ致スト云フ、斯ウ云フ法則ヲ認メマシタノデアリマスルカラ、自然ノ結果ト致シマシテ此法文ヲ必要トスルノデアリマス、又地上權ニ付キマシテハ唯今申述べマスルヤウナ次第デアリマシテ、必シモ之ヲ引離スト云フコトガ不條理ト云フコトニ相成ルマイト斯ウ云フ考デゴザイマス

○富井政章君 成ルホド承ツタ所デハ御説明モ一理アルト思ヒマスルケレドモ、第三項ノ規定、殊ニ地上權ト立木トハ、最モ多クノ場合ニ於テ分離スベカラザル關係ノアルノ

ハ、地上權ヲ讓渡シタ場合ニモ立木が當然讓渡サレタコトニナラナイト云フコトハ、如何ニモ實際ノ情態ト當事者ノ意思ニ適合シナイ場合が多カラウト思ヒマス、此規定ハドウシテモ存置スル必要ガアルト云フ御考デアリマス、寧ロ斯ウ云フ規定ハ除イテ仕舞ッテ契約ノ解釋ニ委シテ置キ、多クノ場合ニハ土地ノ所有權殊ニ地上權ヲ讓渡シタ場合ニハ立木モ共ニ處分セラレルト云フコトニシテ、タダ獨立ノ不動產トシテ登記ヲセネバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、第三者ト爭フ場合ニハ固ヨリ登記が無クテハナラヌコトニナルデアリマス、ソレハ其場合ニ限ラナイ、規定が無クテモ當然サウ云フコトニナルデアリマス、根本ノ權利處分ト云フコトニ關シテハ斯ウ云フ規定ハ無イ方が宜イノデアリマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 此規定ヲ置クカ置カヌカト云フコトニ付キマシテハ大ニ研究モ致サネバナラヌ問題デアラウトハ考ヘテ居リマス、併シ此立案ノ當時ニ於キマシテ篤ト攷究モ致シテ見タノデアリマス、免角當事者ノ意思ニ委スト云フコトニ相成リマス、餘ホド疑ヒノ起ルコトデアラウト思フ、免角立木ト云フモノハ土地ノ定著物デアリマス、現行ノ民法ノ規定通りニ致シマス、免角同一ノ運命ニ從フト云フ解釋ニ相成ラウト考ヘル、併シ此第二條ノ一項ニ於キマシテ、先づ第一條第一條ト第二條ノ一項デス、此法文ヲ合シテ見マス、民法ノ規定通りニ致スノデハナイ、總テ別個ノモノトシテ之ヲ取扱フト云フ解釋モ生ジヤウト思フ、免角明文ヲ置キマセヌト云フト其點ニ付キマシテハ解釋ノ爭ヒニ餘地ハアルト考ヘル、當事者ガ特約ヲ致シテ其點ヲ明ニ致セバ格別、默シテ居リマシタ場合ハ兩方ノ議論ガ出來ヤウト思フ、免角ドチラニ決マリマス、免角シマシテモ此事ハ法文ヲ以テ明ニ致シテ置クコトハ最モ必要デラウト信ジテ居リマス、ソレカラ又ドチラガ宜イカト云フコトニ相成リマス、先刻申上ゲマシタル通り、ドウモ別箇ニ土地ト引離シテ別個ノ不動產ト致シマス以上ハ、當事者ガ特ニ意思ヲ表示シマセヌ以上ハ矢張り別々ニ處分セラレルト云フ方ニ致シマス、方ガ至當ノコトデハナカラウト信ジテ居ルデアリマス

○岡野敬次郎君 私ハ遲ク參リマシテ能ク富井君ノ質問ノ要領ヲ拜聽イタシマセナンダ、矢張り此第二條第三項ノ今問題ニナッテ居ル所ノ第六條ノ規定ハ其趣意ニ於テ詰リ同ジ其疑ヒノ點デラウト思フデアリマス、立木ガ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ、其地上權デケラ以テ抵當權ノ目的トスル、或ハ立木デケラ以テ抵當權ノ目的トスルト云フ場合ヲ認メテ居ルデアリマス、私ハ寧ロ第六條ノ方ガ實ハ私ノ疑ヒノ基デアリマス、成ルホド理窟ヲ申セバ地上權デケラ抵當權ノ目的トナル、立木ガ離レテ特別ノ目的トナルト云フノモ想像シ得ナイコトハナイ、理窟ノ上デ想像シ得ラレコトデアラウト思フ、實際ノ必要ガ何所ニアルカ、又果シテ斯ノ如キ場合ガ現ニ此立法ノ必要ヲ感ジテ居ル所ノ地方ニ斯ウ云フ場合ガアルデアリマス、而カモ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ノ存續期間内ニ於テ其ノ土地ノ質貸借ヲ爲シタルモノト看做ス」ト云フコトハ餘ホド私カラ見ルト奇妙ナ規定ノヤウニ思フ、是等モ矢張り地上權ト立木ト云フモノガ離レ、地上權ハ地上權、立木ハ立木トシテ別々ノ働キヲ爲スト云フ其思想ニ基ク規定デアルト思フ、理窟ヨリ私ハ寧ロサウ云フ場合ガ事實必要デアルカ、又サウ云フヤウナ場合ガアルカ、又將來サウ云フ場合ガ頻々アリ得ルデアルカ、ドウカ、私ガ奈

頁縣アタリノ慣習トシテ聞イテ居リマス所ハ、サウ云フ場合ガドウモ無イヤウニ思フ、重モニ地上權ト云フモノト、マア解スヨリ外アリマス、立木一代ト云フノガ通例デアリマス、又期間ガ過ギレバ更ニ地上權ヲ設定スルコトハアリマセウケレドモ、其間ニ別々ニ處分スルヤウナコトハ頓ト私ハ必要ガ無カラウト思フ、實際ニ必要デアルト云フ所ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ序デニ私ガ伺ヒタイノハ、奈良トカ其他此法律ヲ適用シテ便宜ヲ感ズルデアラウト云フ様ナ地方ニ於テ部分林ト云フモノハ無イノデアルカ、ドウカ、同ジ土地ニ於テ甲乙ノ二人ガ其立木ノ共有者ト云フヤウナ形デ部分林ヲ設定スルコトハ無イカ、若シ有リトシタラバソレハ此本條ノ適用ヲ受クベキモノデ無イヤウニ、チヨット考ヘラレマスガ、果シテ事實ハドウ云フモノデアラウカ、ソコモ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 此實際ノ有様ニ付キマシテハ委シイコトハ農商務省ノ政府委員モ出テ居ラレマス、其方カラ述ベラレコトト考ヘマス、第六條ニ付キマシテノ實際斯ウ云フ地上權ト立木ト引離シテ抵當權ノ目的トスルト云フ必要ガ有ルカ無イカト云フ事柄ニ付キマシテ、大體是マデ調ベマシタコトヲ唯今申述ベテ置キマス、委シイコトハ何レ農商務省ノ政府委員カラ述ベラレノデアリマセウガ、此法律ヲ制定イタシマス、免角付キマシテ必要ヲ感ジマシタ根本ノ理由ハ此前モ何レ述ベタデアラウト考ヘマス、此土地ノ上ノ權利ト立木ト引離シマシテ處分ノ出來ル様ニシタイト云フノガ趣意デアリマス、立木ヲ立ッテ居リマス、伐ラズニ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ抵當權ノ目的ニシタイ、重モニ抵當權ノ目的ニハ立木一代或ハ八十年ノモ百年ノモ或ハ長イノハ又ズツ長イノモゴザイマセウガ、此立ッテ居リマス間ニ立木ノ儘賣渡ストカ或ハ之ヲ抵當ニ入レルト云フコトガ必要デ、御承知ノ通り奈良縣ノ吉野地方ノ如キニ於キマシテハ土地ノ所有者ト木ノ所有者ハ別デアル場合ガ多イ、ソレデ土地ト共ニ立木ヲ處分イタサナイ場合ガ慣習上コレマデ……

○岡野敬次郎君 ソレハ分ッテ居リマス、地上權ノミヲ抵當ノ目的トスル必要ガアルカ、ソレヲ私ハ伺ヒタイ

○政府委員(平沼騏一郎君) デ、此地上權ノミト立木ノミノ場合デスナ、立木ガ地上權ト必ズ一緒ニシナケレバナラヌ……

○岡野敬次郎君 イヤ、地上權ノミヲ目的トスル必要ガアルカ……

○政府委員(平沼騏一郎君) はい、ソレハマア多クノ場合ニ於キマシテハ木ガ生ヘテ居リマス、或ハ地上權ト立木トハ一緒ニ致スカモ知レマセヌケレドモ、地上權者ト云フ者ハ詰リ土地ノ上ニ木ヲ立ッテ權利ヲ有ッテ居ルノデアリマス、此立木デケハ立木ノ伐採期ガ未ダ到來イタシマセヌ場合ニ、アトニ地上權ト云フモノハ其木ハ伐ッテ仕舞ヒマシテモ殘ル必要ガアラウト思フ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ免角、木ノ方ハ殘シテ置キマシテ地上權デケラ抵當權ノ目的トスル場合モ有リ得ベキト思ヒマス、併シソレハ非常ニ多數ノ場合デアラウカ、御尋ネデアリマス、サウ云フコトハ餘計無カラウト思フ、併シマア此場合ハ六條ノ規定デ重モナ場合ハ立木デケラ方ヲ抵當ニ入レマシテ地上權ノ方ハ殘シテ置ク、斯ウ云フ場合ガ六條ノ規定ノ最多ク當筈マル場合デアラウト考ヘルデアリマス、マア此實際ノ事柄ニ付キマシテハ他ノ政府委員カラモ述ベラウト思ヒマス、免角六條ノ規定ニ多ク當筈マル場合ハ立木デケラ抵當ニ入レル場合ト

御認メ下サツラ宜カラウト思ヒマス

○富井政章君 私モ岡野君同ジ疑ヒ有ツテ居ルノデアリマスガ、今ハ第二條が問題トナツテ居ルノデアリマスカラ、第六條ノコトハ言ハナシノデアリマスガ、立木ノ場合ニハ成ルホド地上權ノミヲ抵當トナスコトが出來ルヤウデアリマスケレドモ、其場合ニハ寧ロ地上權ニハイツモ立木ヲ有スル權利ガ分離スベカラザル關係ニ於テ伴ウテ行クノデアツテ、人ニ地上權ヲ移シナガラ抵當ニ入レルトスレバ讓渡シタト同ジ結果ト見ヌナラヌノデアリマスガ、其場合ニ自分ハ其土地ノ上ニ立木ヲ將來ニ仕立ツル權利ガアルト云フダケテ抵當トナツタノハ地上權ダケデアルト云フヤウナ場合ハ實際ニドウ考ヘテモ起ルマイト思フデスナ、サウ云フ場合ガアルデスカ

○藤田四郎君 私モ心配イタシテ居リマスノハ今ノ末項ノ「立木ニ及ハス」所デアリマスガ、第一條ニ天然林ミタヤウナモノガアリマスルト事實非常ニ二者が迷惑スル、詐欺的ノコトガ餘計出來ハシナイカ、造林ト云フコトガアツテ見レバ人モ注意シマスガ、普通ノ自然殖林ノ場合マデモ這入ルコトニナルト矢張り普通ノ民法ノ總則上カラ、サウ云フ保存登記ヲシテ居ルト思ハヌノガ先ヅ當リ前デアリマス、茲ニ斯ウ云フコトヲ、ハッキリ書イテ置クト云フコトニナツテ見ルト、甚ダ弊害が起リハセヌカト云フコトヲ恐レマス、詰リ普通造林デモシテ居ル山ナレバ、ソレヲ抵當ニスルトカ、賣買スルトカ云フコトハ自ラ其山ニ付イテ人ガ注目スル、然ルニ天然林デアルト注目シナイモノデアルカラ、地上權ノ賣買抵當ニナル、其場合ニ相伴フコト云フノが普通ノ觀念デアルカラ、若シ地上權者ナリ、土地所有權者が惡ルイ奴デアツテ、第一條ノ登記ヲシテ置ク場合ガ能クアリヤセヌカト斯ウ思フ、其時ハ大變困難フルコトガアリハセヌカ、第三者ニ對抗上カラ……

○政府委員(上山滿之進君) 唯今ノ御尋ネハ天然生育ノモノマデモ、第一條ニ含まレテ居ル、サウシテ第二條ノ末項ノ規定ガアルトスレバ、詐欺ガ其間ニ行ハレルコトガアリハセヌカト云フ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマスガ、ソレハ天然生育ノ山ガ這入ッテ居ル居ラヌト云フ問題ト、サウ深キ關係ハ無イヤウニ考ヘマス、詰リ天然生育ノ方デ、サウ云フ詐欺ガ行ハレルバ、人工植栽ノ方デモ詐欺ガ行ハレル、其外色ミノ所有權ノ處分ノ場合ニ於テモ詐欺スレバ出來ルノデアリマス、特別ニ天然生育ノモノガ這入ッテ居ル其爲ニ詐欺ガヒドク行ハレルト云フヤウナ考ハ致シテ居ラヌ

○藤田四郎君 ソレヲ第三者ニ對抗スルモノデアリマスカラ、ソレハ詐欺ハドウアリマスカ知ラヌガ、第三者ニ對シテ及ボスモノデアリマスカラ、無論人工ナドカラ云フト買フ人モ、抵當ニスル人モ注目スルモノデアリマスカラ、普通ノ山林デアルト、餘リ注目ハセヌノガ、今マデ仕來リデアルカラ、能クサウ云フ事ガ行ハレ易イト思フノデ、無イトハ申サヌ

○政府委員(平沼騏一郎君) 第十七條ニ立木ノ保存登記ノ申請ヲ致シマス場合ニハ、登記簿上、利害ノ關係ヲ有スルト云フ規定ガアリマスカラ、詰リ所有者ガアリマシテ……

○藤田四郎君 ソレハ分シテ居ル、併ナガラ所有者ガ自分ノ山ノ木ヲ持ッテ第十條ニハ關係ハ無イ、自分ノ山デハ天然林デアルカラ、植エナクテモ木ガアリマス、土地ダケ賣ッテ木ハ自分保存シテ居ル、臺帳ハ別ニナツテ居ル、ソレデ弊害ガ餘計起リ易イダラウ、人工ノ方デアレバサウ云フ弊害ガアリマセウケレドモ、注意ガ違フダラウト斯ウ申シタノデア

リマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 其點ニ付キマシテハ、其木ヲ慮リマシテ第一條ニ規定ヲ設ケマシテ、立木保存登記ヲ致シマス、土地ノ方ニ矢張り書クコトニナツテ居リマス

○藤田四郎君 ソレハ何條デアリマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハ登記法ノ準用ガアリマスノデ差支アリマセヌ、建物登記ノ場合ノ準用カラサウナリマス

○藤田四郎君 サウスルト地面ヲ賣ッタトキハ買ッタ人ガ保存登記ガ別ニアルト云フコトガ分リマスカ、例ヘバ登記シテ登記證書ヲ貰ッタ中ニ、別ニ保存登記ガ無イガ、外ニアルト云フコトガ分リマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ登記簿ノ方デ分リマス

○藤田四郎君 登記簿ヲ貰フト分ルノデアリマスカ、立木ノ登記簿ヲ見ナクテモ、土地ノ登記簿ヲ見レバ分ルノデアリマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) ドウシテモ登記ヲ見ナケレバ分ラヌ、土地ノ登記ヲ見ルト分リマス

○政府委員(上山滿之進君) 先キホド岡野サンカラ御尋ネニナリマシタガ、部分林ノコトヲ申上ゲマス、御尋ネハ此法律ノ行ハレル地方ニモ部分林ノ制度ガ行ハレテ居ルカドウカ、斯ウ云フ點ト伺ヒマシタガ、尙ホ此部分林ナルモノハ此法律ノ下ニ立ツカ立タナイカト云フ御尋ネト承知イタシマシタ、部分林ガドウ地方ニドウ云フ風ニ行ハレテ居ルカト云フコトハ今日調ベテ居リマセヌガ、其實カラ推測イタシマス、奈良地方ノ如キハ他人ノ土地ヲ借りテ立テ木ヲ仕立テ居ル者ハ一定ノ地料ヲ拂ッテ土地ヲ借りテ居ル場合モゴザイマセウ、或ハ其中ニハ土地所有者ト契約ニ依ッテ部分林モヤッテ居ルダラウト思ヒマス、是ハ推測デゴザイマス、ソレカラ國有林ノ方デ申シマスレバ、是ハ部分林ノ行ハレテ居ル地方ハ大體ハ分ッテ居リマス、最モ多ク行ハレテ居リマスノハ、九州ノ宮崎縣、鹿児島縣アタリデゴザイマス、東北地方ニモ少シゴザイマス、其他各地方ニ幾ラカゴザイマス、統計ハ唯今持ッテ居リマセヌガ狀態ハサウ云フ譯デアリマス、其部分林ハ此法律ノ保護ヲ受クルカ、受ケナイカト云フコトニ對シマシテハソレハ部分林モ矢張り保護ヲ受クル積リデゴザイマス

○富井政章君 其點ニ付キマシテハ此前、提出ニナツタ法律案ニハ登記事項ニ關スル規定ノ第一第二本案ノ第十五條ニ當ルノデアリマスガ、第三トシテ部分林ニ付イテハ收益分收ノ歩合ト云フモノヲ登記セヌナラヌコトニナツテ居ッタノデアリマス、今度提出ニナツタ案ニハ登記事項ノ中ニハソレガ除カレテ居ルノデゴザイマス

○政府委員(齊藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ不動産法ノ二十九條ニ「登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其ノ持分ノ定メアルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス」ト云フ規定ガゴザイマスノデ其規定ヲ適用スルト云フコトニ相成リマスカラシテ、不必要ノコトニナリマス

○委員長(伯耆柳澤保惠君) 第二條ニ付イテ御質問ハゴザイマセヌカ

○委員長(伯耆柳澤保惠君) (無シト呼フ者アリ) ソレハ第三條ニ移リマス

○岡野敬次郎君 私ハ此前ニ矢張り「採取」ト云フ文字ニ付イテ御尋ネヲシタノデア
リマスガ、採取ト云フ文字ハ餘ホド廣イ文字デ、副産物デモ主産物デモ共ニ採取ト
云テ居ルノハ殆ド森林ニ關スル法規ハ大概サウ云フヤウニ用井テ居ルノデアリマス、唯
使用方法ニ依ルノ採取アルカラ從テ其輪伐ハ這入ラヌ、同ジク生産物ノ採取ハア
ルケレドモ間伐ハ這入ルケレドモ輪伐ハ這入ラナイト云フコトハ施業方法ニ依ルノ採取デ
アルカラ、サウ云フ區別ガ明アルト云フ御趣意デアリマスガ、ソコヲ伺ヒタイ

○政府委員(上山滿之進君) 是ハ文字ニ現ハシテ居リマス通り當事者ノ協定シタル
施業方法、ソレデ抵當ニ致シマストキ施業方法ヲ協定スルノデアリマス、施業案全部デ
ハ事實ナク、事實施業案全部デナシニ其時抵當ニスルニ付イテハ當事者ノ協定ニ
依テ成立シタル施業方法デゴザイマスガ、從テ主伐ヲスル場合ナドハ其施業方法ニ適
フダラウ、斯ウ云フ事實ノ推測ヲ本ニシテ此前ニハ御答ヘ致シマス、若シモ萬々主伐マ
デモ施業方法ノ中ヘ書イテ、サウシテ當事者ガ協定シタコトガアツタト假定イタシマスレ
バ、ソレハ無論、輪伐ヲ致シマス分モ此樹木ノ採取ノ中ニ這入リマス、前會御答ヘ致シ
マシタノハ事實サウ云フモノハナイダラウト云フ推測ノ下デ御答ヘ致シマスガ、若シ假ニ
サウ云フモノガゴザイマシタラ勿論、其輪伐モ樹木採取ノ中ニ這入リマス

○委員長(伯爾柳澤保惠君) 三條、御質問ハゴザイマセヌカ

(「ゴザイマセヌ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爾柳澤保惠君) 第四條ニ移リマス

○子爵前田利定君 極ク輕イコトヲ伺フデスガ、樹木ガ土地ヨリ分離サレタキト云
フノハ、樹木ガ土地カラ伐採サレテ其林地ニ堆積シタルトカ、伐倒シタルト云フコト
ノ意味デアリマスガ、或ハ場所ガ如何ニ變更シテモ及ボスコトニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハドチラノ場合デモ同ジコトデアラウト思フ、唯他人
ニ移リマシタ場合ハ民法ノ百九十二條乃至百九十四條ノ規定ガ適用サレマスガ、事
實追求ノ出來ヌコトニハナラウト思フ、サウデアリマセヌ場合ハ總テ適用ガアラウト思フ

○岡野敬次郎君 私モ一ツ御尋ネシタイト思ヒマスガ、此第三條ニ依テ施業方法ニ

依テ樹木ヲ採取シタキハ伐ラレタ所ノ樹木ハ即チ動産ニナツテ自ラ抵當權ノ目的トシ
テハ消滅スル、斯ウ云フ趣意ダラウト思フ、ソレカラ第四條ニハ或ハ倒レル場合モアリマ
セウ、或ハ伐採スル場合モアリマセウガ、サウ云フ土地カラ分離シタ場合ニハ其樹木ハ
動産ニナルト云フ趣意デアラウカト私ハ推測スル、ソレハ此四條ノ末項ニ動産ニ關スル
規定ノ適用ヲ妨ケヌトアルカラ、蓋シ動産ト云フ意味デ出來テ居ルノデアラウト思フ、サ
ウシテ是ハ元來ノ趣意ガ若シ土地カラ樹木ガ離レタナラバ權利ガ抵當權ノ目的トシテハ
消滅スル、目的デナイト云フコトニナルノデアリガ、或ハ例ヘバ債務者ガ其木ヲ伐倒シタ
場合ニハ尙ホ抵當權ノ目的トシテ其土上ニ權利ヲ行フト云フコトデアリカ、其根本ノ思
想、動産ト見テ居ルノカ、不動産ト見テ居ルノカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハ立木ト云フ形ヲ失ヒマスレバ、動産ニナルデアラウ
ト思フ、ソレデ民法ノ百九十二條以下ノ規定ガ適用サルコトニナルノデアリマス、動産
ニナリマスト云フト元來、民法ノ規定カラ參リマスルカラ其土上ニ抵當權ヲ行フコトハ出
來ナイト云フコトニナリマス、ソレデ第四條ヲ設ケマシテ矢張り其權利ハ行ヘルト云フコト

ヲ明ニシマシタ積リデアリマス

○岡野敬次郎君 モウ一ツ私ハ伺ヒタイ、土地カラ分離シタ場合ニ抵當權者ハ其樹
木ニ付イテ權利ヲ行フコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマスガ、其權利ヲ行ハネバナラヌ
ト云フ期間ガ定メテ居ラナイ、ドウ云フ時期マデ其權利ヲ行フコトヲ得ルカ、サウスルト競
賣ヲ請求シテ來レハ宜ウゴザイマスガ、競賣ヲセズニ置イテ其樹木ノ所有者ガ之ヲ處分
スルト云フ場合ニナルト抵當權者ガ出テ來テ、抵當權ノ目的デアルカラト云ウテ權利ヲ
行フトキニナルト實際困リハセヌカト思ヒマスガ、其抵當權ノ目的トシテハ消滅スルト云
フ時期ヲ定メテナイ爲ニ差支ハナイカ、詰リ何時抵當權者ガ其權利ヲ行使セントスルカ分
ラナイ、而カモソレガ餘ホド長イト云フト其所ニ倒レタ木ノ始末ヲスルコトガ出來ヌト云フ
コトニナリハセヌカト思フ、ソコハドウ云フヤウニシテ實際ハヤリマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ誠ニ御尤デアリマスガ、詰ルトコロ木ガ倒レマスル
ト云フト、ソレデ立木トシテノ抵當ノ目的物ガ滅ズル譯ニナルノデアリマスガ、抵當權
者モ之ヲ打ヤツテ置キマスレバ抵當權者ハ損ヲスル虞ガアルガ、多クノ場合ニハ第二項ノ
規定ニ依リマシテ抵當權者ハ抵當權ノ實行ヲスルデアラウト思フ、併シ萬
一、抵當權者ガイツマデモ之ヲ打ヤツテ置クコトニナリマスルト、經濟上カラ申シマシテ非
常ナ損ニハナリマスガ、兎モ角此規定ノ儘デアリマスルト所有者ハ之ヲ脇ニ行ツテ處分ス
ルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイコトニナルノデゴザイマス、是ハ或ハ期間ヲ設ケルトカ
云フコトガ必要デアルト云フ御説デアリマスレバ誠ニ御尤ノコトニ考ヘマス、併シ大抵ノ
場合ハ第二項ニ依テ處分セラル、デアラウ、斯ウ云フ考デアリマス

○富井政章君 第四條第五項ノ規定ハ澤山ナ樹木ガ土地ヨリ分離サレタ場合ニハ
適當ノ規定デアリマス、競賣ノ代金ヲ供託スルト云フ大袈裟ノコトヲヤルダケノ値打ガ
アリマスガ、僅カノ樹木ヲ分離シタ場合ニスノ如キ手續ヲ行フト云フモノハ費用倒レニ
ナツテ實際的デ無イト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ抵當權者ノ義務ト云フモノハ、ドウ
云フ風ニ保護サル、モノデアリマスガ、何カモット簡便ナ方法ヲ以テ此損害ヲ償フダケノ
途ガアリサウナモノト思ヒマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 法律ヲ以チマシテサウ云フ細カイ點マデ規定イタス必
要ハ無カラウト實ハ考ヘマシタ、サウ云フ場合ガアリマスレバ抵當權者ト所有者トノ間
ノ協定モ付キマスコトデアリマスルシ、必ズ此第二項ニ依リマシテ競賣ヲシナクトモ其始
末モ付ク場合ガアラウト思ヒマス、其邊ハ當事者ノ協定ニ任セルト云フ趣意デ別段ニ規
定ヲ設ケマセヌ

○藤田四郎君 此第四條ノ一項デゴザイマスガ、是ハ抵當權ヲ行フコトガ出來ルト
云フコトヲ書イタノデアリマスガ、抵當ニ致ス即チ借主ノ之ニ對スル義務ト云フモノハ、例
ヘテ申マスレバ是ハ何レニ三條以外ノ方デ主伐ノ場合ノ義務ト云フモノガアレバ、抵當權
者ニ之ヲ其前以テ通知シナケレバナラヌト云フコトガ要ルノデゴザイマセウ、ソレヲセズニ處
分……之ヲ行フコトヲ得「トナツテ居リマスカラ抵當權者ニ權利ガ無イ義務ノ方ハ何カ
法律上此法律ニ據ラヌモアルノデゴザイマセウカ、通知ノ義務トカ云フコトハ必要デハ
アルマイカト思ヒマス、自然サウシマシタナラバ實際第二項ナリ、ソレノ途ガ付ク場合ガ
アリマセウカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 免二角、自分ノ物ヲ抵當ニ入レマシタ場合ニ之ヲ障害イタシマスコトニナリマス、刑罰ノ當然加ハリマス、別ニ抵當物ニ付キマシテ民事上、ドウ云フ義務ヲ負擔シテ居ルカト云フコトハ全ク民法ノ規定ダケノコトニ致シマシテ、別ニ此法律ノ中ニ明文ヲ設ケヌデモ宜カラウト云フ考デゴザイマス

○藤田四郎君 私ガ心配イタシマスノハ此抵當權者ノ人ガ氣が付イタトキハ此第四條デ働クコトが出来ルカラ宜イガ、サウデナイ場合普通無斷デ木ヲ伐リマスコトハ惡ルイ、主伐ヲスルト云フ以上ハ木ヲ伐ル人ニ抵當權者ニ通知スル義務ヲ有タセルコトガ必要デハナイカ、ソレヲ何所カニ載セル必要ハ無カラウト云フノデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 四條ノ「土地ヨリ分離シタル後」ト申シマス場合ハ御述ベニナリマシタ通り主伐ニ當ル場合デゴザイマス、シカモ是ハ犯罪行為ニ當ル場合ヲ主トシテ見タノデアリマス、ソレ故ニ却ッテ通知ヲスルト云フコトハ餘ホド妙ニナリハセヌカト思フノデアリマス

○藤田四郎君 此大體抵當ニシタルモノガ木ヲ伐ルコトが出来ヌモノト思ヒマス、法律上ニ義務ノアルト云フコトガ書イテ無イト、アナタノ方ハ四條ニ據ッテ、債權者ハ伐ッタ物ニ付イテ權利ヲ行ヒナサレ、私ノ方ハ勝手ニ伐ッテ置キマシタト云ヘバ、木ノ持主ハ木ヲ腐ラスコトハシマスマイガ、之ヲ伐ッテ置イタラ、チビノ出シテ盜ムコトが出来ル、ソレデ詰リ義務トシテ伐ル者ニ責任ヲ負ハセテ、通知スル義務ヲ負ハセテ置クコトが必要デハナイカ、サウデナイト盜ミ出ス便宜ヲ與ヘルコトニナリハセヌカ、サウ云フコトヲ載セタ方ガハッキリシテ宜クハナイカト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 或ハサウ云フ義務ヲ示シタ方宜イト云フ御考ガアルカ知レマセヌガ、自分伐ルト云フコトハ抵當權者ヲ害スル犯罪行為ニナリマスカラ、其事ヲ通知サス義務ヲ法文ニ示シテ置クコトモ妙ナラヌト考ヘマス

○藤田四郎君 サウスルト伐ルコトハイカヌト云フコトガ何所デ分リマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハ抵當物ヲ障害イタシマスレバ刑法ニ條文ガアリマス、立木ノ儘デ抵當ニナッテ居ル物ヲ伐ルハ矢張り其中ニ這入ルト思ヒマス

○藤田四郎君 此重モナルコトハ施業案ニ依リマスガ輪伐ト云フノハ當然ノコトデアルカラ毎年ニ伐ルト云フコトヲ言ヒ得ルノデアリマス、矢張りサウ云フコトハ所有權者ノ同意ヲ得テ輪伐ヲシナケレバナラヌ、サウ云フコトハ、ハッキリ載ッタ方宜サウニ思ヒマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ御尋ネノハ第二條ノ方ニ當ル場合グラウト思ヒマス、間伐等ハ施業法ニ依テ豫メ協定スアリマス、ソレニ依テ、伐リマス場合ハ無論此第四條ニ這入リマセヌ

○藤田四郎君 第三條ハ取ッテ行ク、是ハ伐ルダケデ何モ義務ハナイ、是ハ内ニ持ッテ行クト財産ニナルノデアルガ、第四條ノ方ハ自分ノ財産ニナラヌ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 其通りデアリマス

○藤田四郎君 ソレデゴザイマスカラ違ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 三條ノ方ハ自分ノモノニナル……

○藤田四郎君 伐ルノハ惡ルイガ……私ハ取リマセヌト云ウタラ、ドウシマスカ、サウシテ順ニ盜ンデ行ク、盜ンダノヲ見付カレバ罰ヲ食フガ……泥棒ノ仕易イヤウニサス方法デゴ

ザイマスガ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 四條デゴザイマスカ

○藤田四郎君 四條ノ通知スル責任ヲ抵當者ニ持タス、承諾ヲ經ナケレバ伐ルコトハ出来ヌト云フコトヲ載セテ置カヌトイケマイト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ此第四條ハ無論抵當權者ノ同意ナシハ伐レナイト云フコトハ法文ヲ待タズシテ明カグラウト思ヒマス、三條ノ施業法ニ依リマス場合ハ……

○藤田四郎君 是ハ取ッテ行ク、伐ッタ上ニ持ッテ行ク、片ッ方ノ輪伐ハ施業法ニ依ルガ……私ノ方デハ伐リマシタガ其處分ハ何レ追ッテ御相談スル積リデアルト云ッテ濟ムデゴザイマセウ、ソレハ矢張りハッキリシテ年々伐ルニシテモ豫メ居ルカ承認ヲ經ルト云フコトニシタ方宜サウニ思ヒマス、田舎ニハ往々行ハレマスカラ

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ御尋ネハ施業法ニ依ッテ伐ル場合デモ何トモ斷リガナイ……

○藤田四郎君 四條ノハ伐採イタシマシテモ主伐デゴザイマス……

○政府委員(平沼騏一郎君) 四條ノ伐採ハ是ハ明ニ違法ノコトニナラウト思ヒマス……

○藤田四郎君 サウデゴザイマセヌ

○政府委員(平沼騏一郎君) 施業法デハサウデゴザイマス、施業法ニ依ッテ年々伐ッテ行クノデゴザイマス

○政府委員(上山滿之進君) 今施業案ノコトニ付イテ御尋ネデゴザイマスカラ私カラ申上ゲマスガ、成ルホド此山ニハ植立テ、カラ伐リ拂フマデガ、スガカリ施業案ノアルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、併シ此三條ニゴザイマス施業方法ト言ヒマスルト、其施業案全部ヲ指サナイノデ當事者ガ抵當權ヲ設定スル場合ニ協定シタ施業方法デアリマス、其協定シタ施業方法デ伐ル分ハ勿論三條ニ依ッテモ障リハナイ、例ヘバ初メ立木ノ所有者ガ自分ニ施業案ヲ定メテ居リマスレバ、其施業案ノ全部ヲ三條ニ依ッテ當事者ノ決定シタル施業案ニアラザル場合ニハ其施業案ニ依ッテ伐ルト云フコトが出来ナイ、四條ニ引カレテ……從ッテ刑法ニ依ッテ制セラレルト、斯ウ云フ譯ニナリマス

○藤田四郎君 詰リ此何ハ政府ノ方デサウ云フ順序ニハハッキリ省令カ何カ救ハレレバ異存ハゴザイマセヌガ、何カ物足りナイヤウニ法文ダケデハ思フノデス、若シ御研究ノ上、サウ云フコトヲ省令デ能ク決メテ置キナサルト云フコトが出来レバ宜イ、三條ニ當事者ト云フコトガアレバ、サウ云フ結果ニナルカモ知レマセヌ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 四條、御質問ハゴザイマセヌカ

○岡野敬次郎君 チョット御伺イタシマスガ、四條ノ二項ニ競賣トアルガ、動産ニ關スル競賣ト云フ意味デ無論アラウ、尙ホ斯ウ云フ僅カノ木ノ競賣ト云フコトハ、山ノ奥ニアルノデモ競賣法ノ規定ニ依ッテ何レヤルモノデアラウト私ハ解釋イタシマスガ、實際行ハレマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 政府ノ見込デハ實際行ハレルデアラウト思フノデアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 五條ニ移リマシテモ宜シウゴザイマス
(「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ五條ニ移リマス

○岡野敬次郎君 チョット私ハ伺ヒタイノデアリマスガ、第一ニ御尋ネシタイノハ此地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所ガ存續期間ヲ定メルト云フコトニナッテ居ル、存續期間ト云フモノニハ限リガナイノデアルカ、此地ノ存續期間ニ付イテハ民法ハ私ハ能ク覺エマセヌガ、二十年以上五十年以内ト云フコトニ制限ガアルノデアルガ、此五條ノ場合ハ幾ラデモ詰リ樹木ノ伐採期間ノ來ルマデハドンナニ長クテモ宜イ、或ハ八十年デモ百年デモアリ得ルト云フ意味デアルカト云フコト、ソレヲ一ツ御尋ネシタイ、ソレカラモウ一ツハ「競賣ノ場合ニ付地上權ヲ設定シタルモノト看做ス」ト云フノハ何時カラ設定シタルモノト看ルノデアルカ、其設定ノ時期ヲ伺ヒタイノデス

○政府委員(平沼騏一郎君) 最初ノハ御尋ネノ通りデゴザイマシテ、民法ニ期間ヲ定メタル地上權ハ二十年以上五十年以下ニナッテ居リマスルケレドモ、第五條ノ方デ地方ノ習慣ガ今少シ長イコトヲ必要ト致シマスレバ、其慣例ニ從ヒマス、ソレカラ後ノ御尋ネハ矢張り所有權ガ競落人ニ移轉シタ時カラ起算スルコト云フコトニナリマス

○岡野敬次郎君 同ジク地上權デアルノニ、而カモ同ジ其竹木ヲ所有スルコト云フ爲ニ設定スル所ノ地上權デアレバ、民法ノ善イカ悪イカハ別論デアルガ、民法ニ二十年以上五十年以下ト云フコトニ限ッテ仕舞ッテアルノニ、此法律ニ於テナセ此民法ノ範圍ヲ超エテ宜イト云フ原則ヲ採ルノデアルカ、若シ此場合ニ於テ此制限ガ宜シクナイト云フコトデアラバ矢張り民法ノ制限ガ宜シクナイト云フ論ニナリハセヌカト思ヒマス、若シ此特別法ガ出來ナケレバ矢張り此法律ノ保護ヲ受クベキ地方ニ於テモ民法ノ制限ヲ受クル譯デアル、ソコハドウ云フ譯デ民法ノ規定シテ居ル年數ヨリモ以上ノ年數ヲ定メルト云フ原則ヲ立テルノデアルカ

○政府委員(上山滿之進君) 是ハ其本ノ一代ト云フコトヲ目的ニ致シマスカラ、或ハ五十六年デ伐期ニ達スル場合ニハ必シモ二十年ノ地上權ヲ設定シナクテモ五十六年ノ地上權ヲ設定スレバ澤山デアル、マダ長イノハ七十年ナリ六十年ナリニ達セナケレバ伐期ニ達セナイト云フ場合ニハ、五十年デハ短カ過ギテ、從ッテ森林ノ經濟上不利益デアル、森林ノ經濟ニ不利益ヲ一方ニ於テ來タサナイデ、一方ニ地上權ヲ設定シタイト云フ趣意デ、山ノ模様ニ依ッテ短縮シナケレバナリマセヌ、其意味デ斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○岡野敬次郎君 短縮スル方ハ無論差支ナイ、ソレハ民法ノ規定ト抵觸スルコトハナイ、延バス方ノコトヲ私ハ御尋ネスルノデアル、ソレハ民法モ矢張り竹木ノ種類、ソレカラ狀況……地上權ノ設定ハ其事情ヲ斟酌シテ、サウシテ二十年以上五十年以下ノ範圍ニ於テヤルト云フコトニナルノデスカラ、此特別法ガ若シ出來ナカッタト云フコトニ假定シタナラバ、其地上權ハ矢張り此制限ニ依リ譯デアラウト思フノデアルカラ、若シ本案ノ趣意ガ宜ケレバ民法ノ規定ガ惡リト云フコトニナリハセヌカト思フノデスカラ、ソコヲ私ハ御尋ネシタノデアリマス

○政府委員(河村讓三郎君) 民法ノ規定ノ精神ハ或ハ誤解ヲ致シテ居ルカハ知レマセヌガ五十年……最長期ヲ五十年ニ定メマシタノハ、存續期間ヲ定メマセヌ場合ニハ

五十年マデヲ相當ト認メマシタノデアリマシテ、若シ其地上權ノ目的ニ依ッテ、ソレヨリ以上ノ期間ヲ定メナケレバナラヌ場合ニハ、當事者ガ特ニ其期間ヲ定メルノデアルト云フコトヲ想像シタモノデアルト思ヒマス、例ヘバ立木ノ如キモノデハ一代限リト云フ風ニ必ズ其目的ニ相應シタル期間ヲ定メルト云フコトヲ前提ト致シマシテ、若シ五十年ト云フコトヲ定メナイ場合ニハ五十年ト云フコトヲ規定シタモノデアナイカト思ヒマス、此五條ノ場合ハ當事者ガ期間ヲ協定スルコト云フコトハ到底出來ヌ話デアリマスルカラ、此場合ニ民法ノ精神通りニ期間ヲ定メルト云フ風ニ致シマスル、實際ノ必要ニ應ズルコトハ出來ヌト云フ場合ガ或ハ生シハスマイカト云フ所カラ、地方ノ慣習ニ依リ立木ノ如キハ一代限リトシテ置キマスル方ガ即チ事實ニ適當シタコトニナリハシナイカト思ヒマス

○藤田四郎君 モウ質問ハアリマセヌ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ第六條ニ移リマス

○富井政章君 第五條ノ規定ハ民法ニモ第三百八十八條ニ同ジヤウナ規定ガアリマシテ、是ハ格別奇妙ナ規定トハ思ヒマセヌガ、第六條ノ規定ハ大分ニ趣ノ異ナッテ規定デアリマシテ、是ハドウシテモ斯ウ云フ規定ヲ設クルヨリ外ニ途ガ無イノデセウカ、何カ他ニ御考ヘニナッタコトモアリハセヌカト伺ヒタイト思ヒマス、殊ニ先刻岡野君ガ言ハレタ地上權ノミヲ抵當トナスコト云フ場合ハ實際ニ生ジナイヤウニ考ヘルノデアリマス

○岡野敬次郎君 尙ホ今ノ富井君ノ御尋ネニ對シテ私ハ附加ヘテ御尋ネシテ置キマス先ヅ、地上權ダケヲ抵當權ノ目的トスルコト云フ場合ハ、先刻平沼君ノ御答辯ニ依リマスト澤山ハ無イカモ知レヌト云フコトデアル、有リ得ルト云フコトヲ考ヘテ見レバ、机上デ私ハ有リ得ルモノデアル、絕對ニ無イトハ申シマセヌケレドモ、併シソレハ唯想像ノ話デアッテ、果シテ實際ニアルカト言ッテラ、若シ事實有ルト云フ御答辯デアレバ別デアリマスケレドモ、然ラザレバワソナ場合ヲ想像シテ私ハ法律ノ規定ヲ設ケル、必要ハナイト思ヒマス、ソレカラ第二ニ立木ノミヲ抵當權ノ目的トスルコト云フコトハ實際、是ハ私ハアルデアラウト思ヒマス、併ナガラ地上權者ガ立木ヲ所有スル場合ハ即チ其地上權ヲ利用スル場合デアル、而シテ其立木ガ抵當權ノ目的トナッテ、サウシテ他人ノ所有ニ歸シタ場合ニハ、矢張り其競落人ガ地上權者トナルト云フ趣意ニシタナラバ大變ニ宜クハナイカ、又實際此法律案ノ目的モソレニ依ッテ達セラル、ノデハナイカ、即チ地上權ノミヲ抵當權ノ目的トシタ場合ハ罷メテ仕舞フ、ソレカラ立木ノミヲ抵當權ノ目的ニシタ場合ハ地上權ト伴ッテ行クト云フ主義ヲ採ッテ格別實際ニ困ラヌト思ヒマス、又コナナ錯雜ナ規定ヲ設ケズニ簡單ナ規定ヲ濟ムト思ヒマスガ、ドウシテモ別々ニシナケレバナラヌト云フ理由ガアルカ、若シ明確ナル理由ガ無ケレバサウ云フ趣意ニ改メタラドウカト思フ、サウ云フ趣意ニ改メテイカヌト云フ理由ガアルナラバソレヲ私ハ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 先刻岡野君サンカラ御質問ノアリマシタ如ク、地上權ダケ抵當ニ入レマシテ立木ダケ殘シテ置クト云フ場合ハ餘計ハゴザイマス、反對ノ場合ハソレハ御話ノ通り澤山アルデス、デドウ云フモノデアリマセウカ、法律ノ規定ト致シマシテ、無イコトヲ想像シテ書クト云フモノ、ヨカシイノデアリマスルガ、併シ立木ノミヲ抵當ト致シマシタ場合、即チ立木ト地上權ト分離セラル、場合ガアリマスレバ、矢張り兩方書イテ置キマスル方ガ法文トシテハ宜カラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ立木ダケ抵當ニ

致シマシタ場合ニ、其立木ノ競落人が當然地上權者ニナルト云フコトニシタラドウカト云フ御尋ネデアルノデスガ、是ハ先刻申シマスル通り、立木ノ伐採期ハ地上權ノ存續期間ヨリ前ニ到來イタシマスル場合モアルノデス、是ハ現ニ木ハ伐ッテ仕舞ヒマシテモ、ソレカラマタ地上權者ガ木ヲ伐ッテ後ニ更ニ立木ヲ仕立テタルト云フ場合ハ實際アリマスノデス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、其權利マデモ競落人ノ方ニ移轉シテ仕舞フト云フコトデアリマシテハ、地上權者ノ困ル場合モ隨分アラウト思ヒマスカラ、矢張り地上權ノ範圍内ニ於キマシテ相當ノ期間賃借借付シタモノト看做スト云フ規定ノ方ガ、抵當權設定者ヲ保護スル上カラ申シマシテモ至當デハナカラウト思フデス、若シ此地上權ノ存續期間内ニ於キマシテ更ニ短イ地上權ヲ設定スルト云フコトガ民法ノ規定ノ上テ出來ルモノデアリマスレバ、賃借借付ト云フヤウナ面倒ナ規定ヲ法文トシテ設ケマセメデ濟ムト思フノデアリマスガ、併シ其事ハ民法ノ規定ノ上ニ於テ餘ホド疑ヒガアラウト思フ、地上權ノ讓渡ハ出來ルノデアリマスガ、地上權者ハ更ニ地上權ヲ設定スルト云フコトハ民法ノ規定ニ無イノデアリマスカラ、兎ニ角、疑ヒノアルコトデアリマスカラ、ソレデマア地上權ト同シヤウナ效力ノ有ル賃借權ヲ指ヘル爲ニ斯ウ致シマシタ方ガ穩當デアラウト云フ考カラ、此六條ノ規定ヲ設クルニ至ッテデアリマス

○岡野敬次郎君 私ハ其趣意ヲ以テ御尋ネシタノデ、之ヲ削除スルト云フ意味ヲ以テ御尋ネシタノデハ無イ、成ルホド削除スレバ民法上分ラヌコトニナルト云フコトハ私モ同様デアリマス、併ナガラ若シ其立木ノミガ抵當權ノ目的トナル場合ニ地上權ハ其立木ノ爲ニ存シテ居ルノデアリカラ……ソレデアリカラ立木ト共ニ其地上權モ矢張りクツイテ行クノデアルト云フ趣意ニシタナラバ、ドウデアラウト、斯ウ云フコトヲ私ハ御尋ネシタノデアリマスガ、成ルホド伐採期間ヨリハ地上權ノ存續期間ノ方ガ長ク定メタルト云フヤウナ場合デアルト、ソレハ理窟上サウ云フ場合ニハ困ルト云フコトハ私ハ認メル、併ナガラ實際サウ云フ場合ガアルカ、一代同ジ樹木ヲ仕立テタルノニ一代分ノ地上權マデ設定シテ置クト云フコトハ多分ナカラウ、又半派ナ存續期間ヲ定メテ見タ所デ、ソレハ一向其地上權設定ノ目的ニモ適ハナイノデアリカラ、クツイテ行クコトニシタ所ガ民法ノ規定カラ見ルト地上權者ガ地上權ノ抵當ヲ設定スルコトハ出來ヌノデアリマスガ、ソレハ詰リ五十歩百歩デ、地上權ノ存續期間ハ斯ノ如ク長イモノヲ設定スルコトガアルト見テモ宜イノデアリマスガ、民法ノ規定カラ言ヘバ是ハ無論一ツノ變例ニ相違ナイ、詰リ實際ノ便宜ニ適フ様ニナリ疑ヒノ起ラヌ様ニサヘナレバ宜シイノデ、決シテ文字ニ就イテ言フノデハナク、趣意ヲサウ云フ様ニシタラドウカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 私モ御質問ノ御趣意ハ分ッテ居リマスガ、唯今ノ立木ノ伐採期ヨリモウ少シ長ク存續スル地上權ト云フモノハ全ク無イト云フ様ナ御趣意ト承リマシタガ、ソレハドウモ必シモ無イトハ限ラヌカト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハドウナリマスガ、サウ云フ地上權ガ全部移轉スルト云フ、地上權ノ移轉デアリマスガ兎ニ角權利ヲ競落人ニ移スト云フコトデ、總テノ場合ヲ網羅スルト云フコトニハ參ラヌト云フ考デ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデゴザイマス、必シモ立木ノ伐採期ト地上權ノ存續期間ガ符合スルモノト決メテ規定スルト云フ譯ニハ行クマイト云フ考デゴザイマス

○岡野敬次郎君 私ハ地上權存續期間ヨリモ長イモノガ無イト斷言ヲスルノデハアリ

マセヌ、斷言ハシマセヌガ又斷言ヲスル材料モ持ッテ居ラヌノデアリマス、故ニ御尋ネヲシタノデ、サウ云フ場合ガ實際澤山ニアルカト云フコトヲ寧ロ御尋ネヲシタイ位デアリマス、ドウモ立木ノ一代二代ト云フ様ナ決メ方ハ或ハ事實ニ於テアルカ知リマセヌガ、立木ノ一代半ト云フ様ナ半派ノ存續期間ト云フコトハ此法律上ニ於テ必要ヲ感ズル程ノコトデハアルマイト思ヒマス、立木一代ト云フコトハ澤山ニ例ガアル様ニ聞イテ居リマスガ、併ナガラ立木二代ト云フ地上權ハ事實ニ於テ想像ノ出來ナイコトデアリマス、或ハ百五十年モ存續スル地上權ガアルカト云フト、ソレナモノハ先ヅアリマスマイ、又百年ノ存續期間ヲ定メテ置イテ、サウシテ立木ノ伐採期ガ八十年ノ後ニ來ルト云フ様ナコトモアリマスマイ、若シ實際サウ云フモノガアルタラ、ソレハ誠ニ都合ナモノデアリマス、要スルニ此案ハ立木所有者ノ爲ニ作ル所ノ特別ノ案デアリマス、立木所有者ノ利益ノ爲デアラナラバ其以外マデノ場合ヲ想像セヌデモ宜カラウト思フノデ、ソレ故ニ御尋ネヲシタ譯デアリマスガ、民法ノ例外ノ場合ニハ賃借人ガ立木ヲ所有スル爲ニ八十年ノ後……矢張り民法ノ規定カラ見テデカシイト云ヘバ、デカシイニ相違ナイ、唯實際ノ必要ハ立木ノ爲ニ在ルノデ、此法律モ立木所有者ノ利益ヲ圖ルニ在ルノデスカラ、何トカ工夫ハアリマスマイカト云フ趣意ヲ御尋ネシタノデアリマス

○政府委員(上山滿之進君) 地上權ノ存續期間ノ實際ノ情況ハドウナッテ居ルカト云フコトニ付イテ御答ヲ致シマス、唯今御述ベニナリマシタル立木一代ト云フコトニ抵當權ヲ設定シタ場合ガ甚ダ多イノデゴザイマス、多數ハサウ云フ譯デゴザイマス、ソレニ異ッテ地上權ノ存續期間ヲ定メテ居ルモノガ、ドノ位アルカト云フコトハ不幸ニシテ未ダ調べテ居リマセヌケレドモ、併シ一代半トカ一代三分ノ一トカ云フ地上權ノ設定ハアルマイト思ヒマスガ、岡野サシノ言ハレマスル様ナ二代トカ或ハ三代トカ云フ存續期間ヲ定メテ居ルモノハアルダラウト思ヒマス、無イト云フコトハ斷言ガ出來マセヌノデゴザイマス、ソレハ何故カト申シマスルト借料ノ關係カラ致シマシテ一代ナラバ斯ウ、一代ナラバ斯ウ、ト云フ様ナ場合ニ二代ノ方ガ借料ガ廉ケレバ隨分二代ト云フ契約ヲ結ブダラウト思ヒマス、不幸ニシテドコニドウ云フ例ガアルト云フコトヲ申上ゲル材料ハアリマセヌガ、無イト云フコトヲ根據ニシテ法ヲ設ケルト云フコトハ如何ナモノデアラウト斯ウ考ヘマス

○藤田四郎君 私ハ先ヅ是デ……

○委員長(伯耆柳澤保惠君) 御異議ガ無ケレバ第七條ニ移リマス

○藤田四郎君 私ハ先ヅ是デ……

○委員長(伯耆柳澤保惠君) 別段ゴザイマセヌカ

○岡野敬次郎君 私ハ第七條ハ實際必要デアルカ、ドウカト云フコトヲ御尋ネシタイ

○富井政章君 序デニ私モ同ヒマスガ、茲ニハ「轉貸ヲ爲スコトヲ得ル土地ノ賃借人」

云々トアリマスガ、轉貸ヲ爲スコトヲ得ザル土地ノ賃借人ニ屬スルモノハドウナリマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 地上權ニ依リマセヌデ賃借權ニ依リマシテ立木ヲ仕立テマスル場合ノ規定ノ積リデゴザイマス、總テノ場合ハ地上權ニ依ッテ居リマスル場合ニハ必要ハナイコトニナリマスガ、併シ賃借權ニ依ッテ立木ヲ所有シテ居ル場合ヲ慮ッテノ規定デアリマスカラ、其點ヨリシマシテ此必要ガアラウト云フ考デゴザイマス、ソレカラ轉貸ノ出來マセヌ賃借人デアリマスルト何時デモ土地所有者ノ承諾ヲ得ナケレバ轉貸ヲスル

コトハ出来マセヌ、是ハ土地所有者ノ承諾ヲ得マシタ場合ノ積リデアリマス、轉貸ノ出来ルト云フノハ……ソレハ轉貸ハドウシテモ出来ヌト云フコトニナリマス。ト云フト其抵當權ノ執行ニ依リマシテ競落ヲ致シマスル場合ニハ其木ヲ伐レヨリ外ニ仕方ガナイ、立木ノ儘デ之ヲ競落スルコトハ出来ナイ、是ハドウモサウ云フ貸借ニ依リマシテ立木ヲ仕立テテ居ル其立木ヲ抵當ニ取ツタ場合ニハ已ムヲ得ヌコトニナリマス

○富井政章君 サウスルト 其執行處分デアリマスガ、矢張り不動産ニ關スル規則ニナリマスガ

○政府委員(平沼一 郎君) 其場合、即チ伐リマシタ後ノコトハ不動産ニ關スル規定ト同一ノ規定ニ依ル外、仕方ガナイカト思ヒマス

○谷森眞男君 チヨット御斷リヲ申シテ置キマスガ、私ハ午後カラ砂糖消費稅ニ關スル法案ニ付キマシテ衆議院トノ協議會ニ參ラヌケレバナラヌコトニナツテ居リマスルデ、是ヨリ退席ヲ致シマス、私ト武井男爵モ同様デゴザイマス

○委員長(伯鸞柳澤保惠君) 如何デゴザイマセウ、大分午後ニハ他ノ委員會モゴザイマスサウデゴザイマスガ、矢張り續ケテ此案ノ質問ヲ進メルコトニ致シマセウカ、或ハ今日ハ茲デ止メマセウカ

○藤田四郎君 質問ダケハ今日シテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○岡野敬次郎君 モウ先キノ方ハ格別質問モアリマスマイカラ簡單ニ質問ダケ濟シタイト思ヒマス

○委員長(伯鸞柳澤保惠君) ソレデハ質問ダケハ……第七條ニハ何モゴザイマセヌカ
(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○富井政章君 八條ニ就イテハ私質問シタイコトガアリマスガ、是ハ此前ノ法律案ニハ民法第三百九十八條ノ規定ハ、地上權者ガ其所有スル立木ヲ抵當ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ストアリマスガ、之ヲ此度民法第三百九十八條ノ準用デハイケンイト云フコトカラ斯ウ云ウヤウニ書キ改マツタヤウデアリマス、範圍ノ廣イ狄イニ付イテハ、ドチラガ宜シイカ、ソレハ暫ク別問題トシテ、結果ガ餘ホト違フコトニナルデアラウト思フノデアリマス、民法第三百九十八條ニ依レバ、地上權又ハ永小作權ヲ抵當ト爲シタル者ガ其權利ヲ拋棄シタルモ、之ヲ以テ抵當權者ニ對抗スルコトヲ得ズトアル、拋棄ハ無効デアルト云フコトデハナイ、當事者間ニ於テハ法規ハ何所マデモ有効ト見タノデアルト解スルノデアアル、唯抵當權者ニ損害ヲ及ボシテハナラヌト云フ趣意カラ置カレタ規定ト解スルノデアリマス、然ルニ、今度ノ第八條ニ依レバ絕對的ニ拋棄ガ出来ナイト云フコトニナツテ居ル、是マデニスル必要ハ何所ニアルノカ、絕對的ニ無効トスル趣意ノヤウニ讀メルノデアリマスガ、果シテサウデアアルカ、ソレナラバソレマデニスルコトガ何故ニ必要デアルカソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答イタシマス、前回ノ案ニハ唯今御述ベニナリマシタ通りノ文字ガ使ッテアリマシタデゴザイマス、併ナガラ段々研究シテ見マスルト、前回ノ案デハ甚ダ不タシカニナツテ參ルノデアリマシタデス、民法第三百九十八條ニ於キマシテハ地上權又ハ永小作權ヲ抵當ト爲シタル者ガ、地上權又ハ永小作權ヲ拋棄スルト、斯ウニ場合ニ付イテハ規定シテゴザイマスルガ、此案ヲ規定シヤウト致シマスル點ハ、地上權者又ハ土地ノ賃借人ニ屬スル立木ガ抵當權ノ目的デアアル、立木ガ抵當權ノ目的

デアル場合ニ於テ其地上權ヲ拋棄スル、斯ウ云フコトニナリマス、準用ト云フ書キ方デハ意味ガ通ジナクナル虞レガアリマス、ソレ故ニ書キ改メマシタ次第デゴザイマス(富井政章君「ソレハ分リマシタ」ト呼ブ)ソレカラ抵當權者ニ對抗スルコトヲ得ズト云フ民法ノ原則ヲ改メマシテ、權利ヲ拋棄スルコトヲ得ズト致シマシタノハ、其方ガ完全ニ權利ヲ保護スルト云フ趣意ナノデアリマス、ソレトモウ一ツハ契約ヲ解除スルコトヲ得ズト云フコトヲ入レマスル必要ガゴザイマスル爲ニ、ソレトノ鈞合ヲ得ル趣意カラ斯ウ致シマシタ次第デゴザイマス

○藤田四郎君 モウゴザイマセヌ

○委員長(伯鸞柳澤保惠君) 第九條ニ移リマス

○富井政章君 本條第一項ノ末文及第二項ハ此前ノ法律案ニハ無カッタヤウデゴザイマスガ、私ノ伺ヒタイコトハ第一項ノ末文デアリマスガ、何故ニ立木ノ競落人ガ相當ノ對價ヲ支拂ハネバナラヌノデアリマスルカ、立木ノ所有者ガ土地ヲ使用スル權利ヲ有ツテ居ツタ場合ニハ競落人ハ矢張り同シヤウニ使用シテ差支ナイヤウニ思フノデアリマスガ、競賣ガアツタカラト云ウテ是カラハ土地ノ所有權ヲ取得スル者ハ對價ヲ拂ハネバナラヌト云フコトハ何故必要ナノデアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御答ヘ致シマス、前回ノ第十一條ノ規定ヲ設ケマシタ必要ハ森林法ガ制定、新シイ森林法ガ制定サレマシテ、其第四十條ニ規定ガアリマスルヤウニナリマシタカラシテ、強制的ニ他人ノ土地ヲ使用スル場合ニ付キマシテハ斯様ナ、規定ノ必要ガ無クナツタノデアリマス、森林法ノ第四十條ニハ、御參考マデニ讀ンデ見マス「森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬ノ爲又ハ運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ノ使用ニ係ルトキハ當該官廳ハ之ヲ地方長官ニ協議スヘシ」地方長官ハ前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ協議調ヒタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ」第一項ニ依リ土地ヲ使用セムトスル者ハ前項通知ノ後其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議スヘシ」斯ウ云フコトガアリマス、此規定ニ依リマシテ、申サバ強制的ニ他人ノ土地ヲ使用スル場合ニハ此法案ニ依リマシテ新ニ規定ヲ設クル必要ガゴザイマス、併ナガラ當事者ノ間ニ契約上テ他人ノ土地ヲ使用シテ居ル場合ガアルデアラウト云フコトヲ豫想シタノデアリマス、此場合以外ニ便利ノ爲ニ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ豫想シタノデアリマス、豫想シタノデアリマス、其場合ニ即チ契約上他人ノ土地ヲ使用スル場合デゴザイマシテ、森林法ノ第四十條ニ當ラナイ場合デゴザイマスレバ、其場合ニハ即チ契約ニ於テ對價ヲ拂ツテ居ル場合ト見ナケレバナラヌ、然ルニ競落人ガ其權利義務ヲ承繼スルコトニナルト、競落人ハ却ツテ詐欺ニカ、リマシテ無限ノ對價ヲ拂ハネバナラヌト云フ結果ニナル虞レガアリマスルカ、權利義務ノ承繼ヲ認メズシテ、權利ハ認メルガ、ソレニハ相當ノ對價ヲ拂ツテ相當デアルト云フ趣意デ設ケマシタ

○富井政章君 私ハ此條ノ趣意ヲ誤解シテ居ツタノデアリマス、唯今ノ御説明ニ依レバ斯ウ解シテ宜シイノデアリマスガ、此場合ハ此所有者ガ對價ヲ拂ツテ土地ヲ使用スル權利ヲ有シテ居ツタ場合デアアル、ソコデ競賣ト云フコトガ生ジタ、若シ何等ノ規定モ無ケレバ森林法ノ規定ニ依ツテ競落人ハ對價ヲ拂ハナクテモ宜イコトニナルデアアル、即チ前所有

者ハ拂ハナケレバナラヌノデアッタニモ拘ラズ、競落人ハソレヲ拂ハナクテモ宜イコトニナル、少クモ疑ガ存スル、ソレ故ニ前ノ所有者ガ拂ッテ居タヤウニ引續イテ拂ハナケレバナラヌト云フコトニシタノデアアル、斯ウ云フ趣意デアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス

○藤田四郎君 第二項ノ方ハ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 先程ノ富井サンノ御尋ネノ第二項ニ付イテノ御答ヲ落シマシタカラ申上ケマスガ……

○藤田四郎君 水ノ使用ニ關スル規定ガ前回ニハゴザイマセヌデシタカ

○政府委員(齋藤十一郎君) サウデゴザイマス

○藤田四郎君 モウ分リマシタ、ソレデハ質問ハゴザイマセヌ

○子爵前田利定君 唯今ノ富井君ノ質問ニ付キマシテ、今ノ御説明ニ依レバ土地ノ所有者ガ對價ヲ拂ッテ使用シテ居タ場合ニ、競落ガ起ッタ場合ノ御示デアリマシタガ、若シ前所有者ガ無償デ以テ土地ヲ使用シテ居タ場合ニハ競落人ハドウ云フ關係ニナリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 無償デ土地ヲ使用セシメマスル場合ニハ競落人ガ無償デ從前ノ所有者ノ通りニ土地ヲ使用スルコトハ不當ト思ヒマス、其時損害ガアレバ相當ノ對價ヲ拂ハセル趣意デアリマス、即チ無償デ使用セシムルコトハ恩惠ノコトデアリマス、其利益マデ望ムノハ宜過ギルト思ヒマスカラ、其時ニモ矢張り相當ノ對價ヲ拂ハネバナラヌモノト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 十條ニ移リマス
○岡野敬次郎君 先取特權ニ準用スルノ前ノ澤山ノ箇條中、抵當權ノ目的タルトキニ先取特權ト云フノラ當嵌メテ宜シウゴザイマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様デゴザイマス
○岡野敬次郎君 サウスルト、例ヘバ五條六條ヲ此準用ノ趣意ニ依ッテ讀シテ見マス、立木ガ土地ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其土地又ハ立木ノミガ先取特權ノ目的タルトキハ先取特權設定者ハ競賣ノ場合ニ付キ地上權ヲ設定シタルモノト看做ストナルノデアリマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 先取特權設定者ト云フコトニハナルマイト思ヒマス、其場合デアリマス所有者ニナリマス、先取特權ノ效力ヲ受ケマス者デアリマスカラ……
○岡野敬次郎君 第六條ハドウナリマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 第六條ハ立木ガ地上權者ニ屬スル場合ハ先取特權ノ目的デアリマス場合モ、矢張り同様ニナラウト思ヒマス

○岡野敬次郎君 抵當權設定者ト云フノカ地上權者デスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 地上權者又ハ立木ノ所有者ニナリマス

○岡野敬次郎君 地上權者ハ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 地上權者又ハ立木所有者ニナリマセウ

○岡野敬次郎君 八條ノ方ハ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 八條ハ矢張り同一ニナリマセウ、即チ地上權者又ハ

賃借人ハ先取特權者ノ承諾ガナケレバ、トナリマセウ

○富井政章君 先取特權者ノ承諾ガナケレバ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 先取特權者ハ權利ヲ得ルデス、例ヘバ立木ニ付イテノ權利ハ得マスケレドモ、併ナガラ賃借權ヤ地上權又ハ賃貸借ノ權利ガ消滅シテ仕舞ハバ木ヲ伐ランナラヌヤウニナリマス、立木ノマ、競落シテハ所有權ガ得ラヌコトニナリマス、矢張り同一ノ結果ニナラウト思ヒマス

○岡野敬次郎君 チョット分ラナイガ、八條ノ權利ヲ拋棄スルト云フノハ地上權者ガ地上權ヲ拋棄スルト云フノデ、賃借人ガ賃貸借ノ契約ヲ解除スルト、先取特權ノアル場合ニ地上權者ガ地上權ヲ拋棄スルト、立木ガ先取特權ノ目的トナッテ居ル場合ニ立木ガ先取特權ト云フコトモ消滅スルノデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ消滅ハシナイノデス、消滅ハシマセヌケレドモ立木ヲ伐ッテ仕舞ハナケレバナラヌヤウナ結果ニナリマス、ソレヲ防グ爲ノ規定デアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 十一條……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 十二條

○富井政章君 若シ續イテ會議ヲ御開キニナリマスナラバ私ハ十二條ヨリ二十一條マデヲ一括シテ問題トセラレムコトヲ發議イタシマス、是ハ手續ニ關スルコトデ密接ノ關係ヲ有ッテ居ルカラ、ソレデ宜カラウト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 富井君ノ御發議ニ御異論ゴザイマセヌカ
〔異議ゴザイマセヌト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ゴザイマセヌナラバ十二條ヨリ終ヒマデヲ問題ニ供シマス

○岡野敬次郎君 此六條ニ「土地ノ賃貸借ヲ爲シタル者ト看做ストシテ其賃貸借ノ登記ト云フモノハ無いノデスカ」

○政府委員(平沼騏一郎君) チョット……立木ノ土地ノ賃貸借デスカ

○岡野敬次郎君 ハイ

○政府委員(平沼騏一郎君) 其土地ノ賃貸借ノ方ニハ登記ガアリマス土地ニ付テハ……

○岡野敬次郎君 ケレドモ立木登記簿ト云フモノニ書カナイノガ宜イカ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 立木登記簿ノ方ニハアリマセヌ

○岡野敬次郎君 無クテ宜シウゴザイマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 宜シウゴザイマス

○藤田四郎君 必要デハアリマセヌカ、例ヘバ今岡野サンノ言ハレル登記簿ノ立木ノ方ニ矢張りドウ云フ様ナ木ガ有ルカト云フコトノ關係ガ起ッテ來ルガ、ドウ云フ工合デスカ、地上權ノ關係ノコトハ矢張り幾何カ載ッテ居ラヌト分ラヌデハゴザイマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 立木ノ登記簿ハ十四條ニアリマス、所有權ト先取特權

ト抵當權ダケニ致シテアリマス

○岡野敬次郎君 ソレデ實際差支ナイカト云フコトヲ御尋ネスル……

○政府委員(平沼騏一郎君) 差支ナイ積リデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今藤田サシノ御尋ネゴザイマスガ、是ハ登記ニ付

キマシテハ建物ト土地トノ關係ハ同ジヤウナ規定デゴザイマス、ソレデ建物ノ登記簿ノ方

ニハ土地ノ表示ガゴザイマスノデアリマス、併シ地上權アルカ賃借權アルカト云フコト

ハアリマセヌ、土地ノ登記簿ヲ見ナケレバ分リマセヌ、土地ノ登記簿ニ地上權賃借權ハ

有リマス、建物ノ登記簿ニ依リマシテ實際ヲ見マシテ土地ノ登記簿ヲ見ルト、ドウ云フ

原因デアルカガ分リマス

○岡野敬次郎君 サウ云フ理窟ニハ行クマイト思フ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 別ニ質問ガゴザイマセヌカ、ソレデハ今日ハ是デ終リマ

シテ……

○富井政章君 チョットモウ一ツ、一番終ヒノ二十一條ノ次ヘ一ツ規定が必要デハナ

イカト云フコトニ付イテ伺ヒタイコトガアリマス、此前提出ニナリマシタ案ニハ罰則ガアリマ

シタ、今度ノ案ニハ無クナッテ居ルデアリマス、先日政府委員ノ御説明ニ依レバ刑法

第二百六十二條デスカ、新刑法第二百六十二條デ仕末ガ附イテ居ルト云フコトデアリ

マシタ、併シ是ハ樹木ヲ損壞又ハ傷害シタル場合ニハ刑法ノ規定ガ有ル譯デアリマスガ、

利ヲ謀ル目的ヲ以テ樹木ヲ採取シタル場合ニ起業方法ニ違反シテ其行爲ヲナシタル場合ニ

ハ刑法第二百六十二條ニ含マレテ居ナイヤウデアリマスガ、其場合ニハドウナルノデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今御尋ネノ場合ハ總テ其中ヘ含マセル積リデ規定

ヲ省キマシタ、免ニ角採取イタシマスニハ伐ラナクチヤナラヌ、ソレデアリマスカラ別ニ……

○富井政章君 ソレハ傷害ニ這入ルデスカ、損壞ニ這入ルデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 是ダケデ刑罰ハ大分重クナッテ居リマスルノデ、是レ以

上ニ刑法ノ規定ヨリ尙ホ重ク罰スル必要ハ認メナカッタノデアリマス

○富井政章君 私ハ文字カラ云ヘバ無罪ニナリハセヌカト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 無罪ニハシナイ積リデアリマス

○富井政章君 積リデモ……大丈夫デスカナ

○政府委員(平沼騏一郎君) マア其積リデアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御質問アリマセヌカ……ソレデハ今日ハ是デ終リマシテ

明日ハ午前十差支ノ方モアリマセウカラ午後一時カラ開キマス……其積リデ……

午後零時三十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君

委員

子爵前田 利定君

谷森 眞男君

子爵松平 親信君

藤田 四郎君

男爵武井 守正君

富井 政章君

岡野敬次郎君

政府委員 司法次官 河村讓三郎君

司法省參事官 齋藤十一郎君

司法省民刑局長 平沼騏一郎君

農商務省山林局長 上山滿之進君

明治四十二年三月十九日印刷

明治四十二年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局